

釧路湿原エコウォッチング（昆虫編）

釧路湿原の環境や生物は四季を通して変化しています。この授業では春から夏にかけてめまぐるしく変わる湿原の自然をじっくりと観察し、湿原の環境や生物について知識を深めることを目的としています。地域教育開発専攻1年生を2班に分け、交互に行われるフィールドワークでは、昆虫を私（生方）が、植物を神田教員が、鳥を非常勤講師の澁谷氏が担当しています。（生方 秀紀）



釧路湿原の木道上での昆虫観察の途中で集合。（2011年度入学A班）。



釧路湿原国立公園に隣接する湿地での昆虫観察・採集（2011年度入学B班）。採集した蝶やトンボなどの標本は大学に持ち帰り、担当教員が用意した図鑑や顕微鏡を用いて名前調べ（同定）と採集データの記録（ラベリング）を行います。